

CMSC JOURNAL

Vol.27



'90全国大会、盛大に開催される。

8月4日、福島県東北サファリパークにある、えびすサーキットにて、'90CMSC全国大会が開催されました。

今回の全国大会では、クローズドジムカーナ競技会をメインに、開催。全国の腕自慢が多数エントリーし、盛大なイベントとなりました。

当日は、外川会長をはじめ、三菱自動車からは、WRC三菱チームの監督として活躍する木全監督、ラリーアートからは近藤社長などにも参加をいただき、CMSCのメンバー達は一層気合の入ったジムカーナになりました。

競技はカートコースを利用し、2分前後とジムカーナとしては長めのコース設定。

まず、FFクラスからスタート。各ドライバー、気合を入れてスタートしていくが、アクセルを踏みすぎ、思うようにタイムがでない。どちらかという、ダート好きの多いCMSCのメンバーらしい走りでした。そんな中で、福島の須田選手が1'54"50のベストタイムをマーク。JAFジムカーナ地区戦シリーズ2位の實力を発揮し、オーバオールウィナーとなった。

4WDクラスでは、ジムカーナには不向きといわれる車をうまくコントロールし、皆さん豪快な走りを見せてくれました。

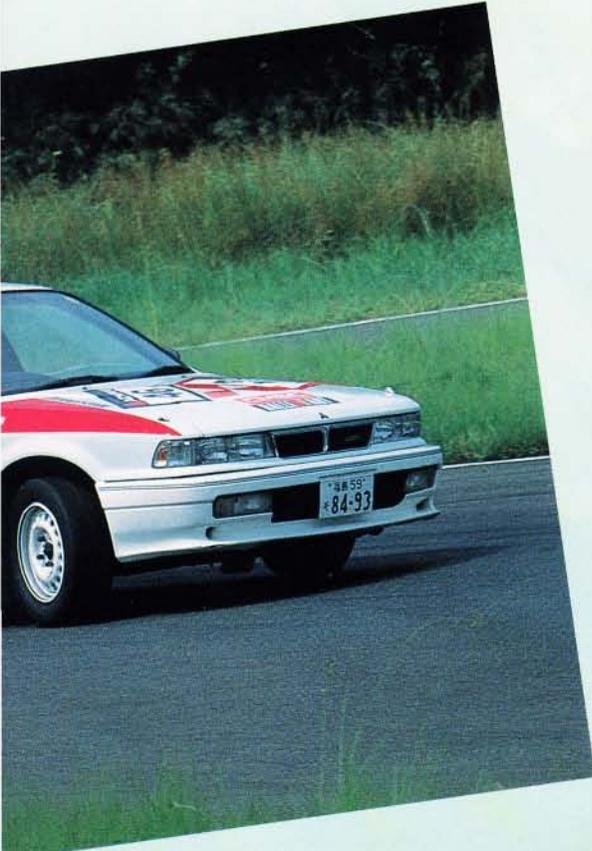
その後、FRクラス、軽クラス、オープンクラスと続き、他のイベントではなかなか見ることのできない、スタリオン、ランサーターボ、ミニカなど、CMSCら

しいイベントとなりました。

競技の運営は、CMSC福島のメンバーがあたり、スムーズな進行で予定通り昼の部を終えることができました。福島の皆様、暑い中大変ごろうさまでした。また、アナウンスと解説には木全監督自ら担当していただき、適切なアドバイスで、大変ありがとうございました。

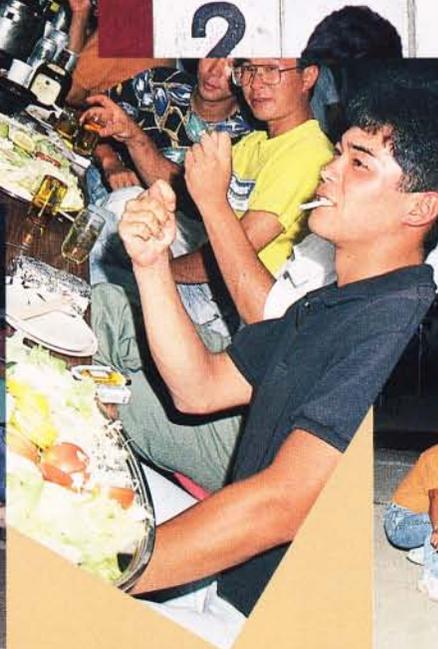
夜の部は、サファリパーク名物の牛の丸焼きパーティー。久々のCMSC全国大会とあって、サファリパークの社長さん自ら、カウボーイスタイルで大サービスしてくれました。その後、花火大会、ビンゴゲームなど大いに盛り上がり、各支部が入り交り、和気あいの雰囲気夜遅くまで、パーティーが続きました。







東北サファリパーク





'90CMSC全国大会 クローズドジムカーナ競技会結果

団体成績 (上位3名のポイントを有効とする。)

8月4日 エビスサーキット 晴 ドライ

		FF		4WD			FR	軽	オープン	合計
1位	福島	20	15	15	6		7.5	10		50
2位	青森	4	1	20	12	8				40
3位	仙台	3					10	7.5		20.5
4位	山形	10		4				5		19
5位	岐阜	6		10	2					18
6位	埼玉			1			6	5		12
7位	栃木								10	10
8位	香川			3				6		9
9位	愛知	8								8
10位	島根	2								2

個人成績

FF

1位	須田行雄	福島	1'54"50
2位	佐々木孝雄	福島	1'57"04
3位	二木貴代美	P's	1'59"39
4位	黒沼与一	山形	2'00"20
5位	土屋勝平	愛知	2'00"55
6位	三枝光博	岐阜	2'01"47
7位	田中兼一	青森	2'01"75
8位	渋谷和彦	仙台	2'02"13
9位	国谷益雄	島根	2'02"52
10位	石田隆雄	青森	2'02"88

4WD

1位	小館久	青森	1'58"57
2位	加藤一也	福島	2'00"90
3位	花田信行	青森	2'02"09
4位	三園孝	岐阜	2'03"68
5位	井上学	青森	2'04"21
6位	佐藤宏昭	福島	2'05"20
7位	清水潤	山形	2'06"26
8位	白井美奉	香川	2'07"76
9位	浅野博孝	岐阜	2'09"89
10位	高橋健一	埼玉	2'11"31

FR

1位	後藤庄悦	仙台	2'02"56
2位	後藤孝男	福島	2'09"48
3位	大野雅義	埼玉	2'25"82
4位	加藤良夫	埼玉	2'40"34

軽

1位	斉藤賢司	福島	2'11"79
2位	今野広志	仙台	2'13"88
3位	白井修	香川	2'15"00
4位	富樫和裕	山形	2'18"21

オープン

1位	山口茂	栃木	2'05"50
----	-----	----	---------

スポンサー一覧

R.J.レイノルズMCタバコ(株) IPF(株) 青木科学研究所 (株)旭通通信社 (株)アライヘルメット (株)伊勢丹 (株)ウイングス・コーポレーション・ジャパン (株)エスエス・リミテッド エムバイア自動車(株) オーツタイヤ(株) カヤバ工業(株) 機キャロッセ (株)サミット シスコジャパン(株) 住友ゴム工業(株) (株)タスカ・エンジニアリング (株)東京映像社 (株)阪急交通社 PIAA(株) (株)ブリヂストン ポッシュロム・ジャパン(株) 横浜ゴム(株) (株)リアーアート

(アイウエオ順)

CMSC勢、全国で大活躍!!



CMSC埼玉の長沢太郎選手はキャロッセの桜井選手のギャランを購入



CMSC岐阜 榎田正文選手は全日本ダートラ A III 3年連続チャンプをめざす



CMSC群馬の荒井信介選手は全日本ダートラ第2戦で念願のA III優勝



CMSC福島 高橋正喜選手はB地区ダートラ A III 1位



CMSC青森の大西康弘選手、今年は初の海外遠征も…



CMSC山形 砂塚明男選手は全日本ダートラで今季2勝!



CMSC愛知 因俊郎選手は全日本ラリー唯一ミニカでエントリー



CMSC山形 赤羽政幸選手は全日本ダートラの上位常連

チャレンジカップの行方を握るのは個人の活動。今シーズンもCMSCのメンバーはそれぞれの方面で大活躍中だ。

まず全日本ラリー選手権シリーズ。CMSC青森の大西康弘選手は第2戦・ACKスプリングラリーでCクラス3位、第5戦・AGMSC北海道ノースアタックで5位、第7戦・モンロー'90で4位と活躍。また、第2戦ではCMSC愛知の因俊郎選手がミニカでAクラス7位と健闘。第3戦・ツール・ド・四国ではCMSC埼玉の長沢太郎選手が11位に入った。

全日本ダートトライアル選手権シリーズでは、AIIIクラス出場組が頑張っている。CMSC群馬の荒井信

介選手は第1戦・丸和で9位、第2戦・三井で1位、第3戦・名阪で8位、第4戦・ミナミで5位、第5戦・砂川で4位、第6戦・鈴鹿で2位と大活躍。CMSC岐阜の榎田正文選手も'89年の自力で、第1戦2位、第2戦7位、第3戦7位、第4戦4位、第5戦2位、第6戦3位と好調。CMSC山形の赤羽政幸選手も頑張っている。第1戦7位にはじまり、第2戦2位、第3戦4位、第5戦8位、第6戦4位。同じ、山形の砂塚明男選手は、第1戦8位、第2戦9位、第5戦1位、第6戦8位。CMSC札幌の宝田芳浩選手も、第4戦6位、第6戦7位。CMSC福島の高橋正喜選手も第4戦7位に入っている。

また、CIIIクラスでも、CMSC札幌の千田俊二選手が、第1戦5位、第3戦5位、第4戦1位、第5戦3位、第6戦2位と着実にポイントを上げている。

さらに、地方選手権では、数多くのメンバーが、ラリー、ダートラに活躍。ここでは紹介しきれないほどです。一方、ちょっと元気のないのがジムカーナです。福島の須田行雄選手が一人頑張っているが、ぜひ、ターマックを攻めてみてはどうだろうか? レース部門はミラージュカップを中心に参加台数も増え、山形の小川日出生選手をはじめ活躍が目立ちます。次回のCMSCジャーナルには、皆さんの写真が掲載されるよう頑張ってください。

CMSC香川、久々にラリーを主催。

8月25～26日、瀬戸大橋のもと、宇多津国際ホテルをスタート及びゴールとする、JAF地方選手権ラリー、F・G地区第4戦、'90CMSCダイヤスターラリーが開催された。43台とエントリーは少々さびしいものであったが、エントリーの顔ぶれは、全日本にも出場しているそうそうたるメンバーが揃った。

1ステは2本のSSを含む8cpで構成された。1ステ終了の時点で、今シーズンシリーズチャンプを目指す山本／増田選手組が、SSでもバツグンの速さを見せつけ、トップに立った。

約1時間のサービス、レストの後、第2ステージへと向かう予定であったが、3cpで大量のミスコースが発生。住民とのトラブルを避け、今後もこの地域で



JAF地方選手権ラリーF・G地区第4戦 '90CMSCダイヤスターラリー

ラリーを続けるための、オフィシャルは、2ステをキャンセルした。結果Cクラスは山本貢／松田耕司選手のギャランが1位を獲得した。



CMSC勢上位で頑張る!

JAFダートトライアル四国地方選手権第5戦'90CMSCアストロトライアル



4月29日、香川スポーツランドで'90CMSCアストロトライアルが開催された。朝方までの雨も1本目がスタートするころにはすっかり上った。雨のため、直前になってコースを大幅に変更し、最もスピードの乗るストレートはキャンセルしたが、パイロンをなくしたため、エントリーには好評であった。

AIIIクラスでは、CMSC香川の高竹優之選手が2位、同じ近藤健司選手が4位、高島誠治選手が8位と、それぞれギャランで大活躍をした。

A IからDクラスまで約60台を集めたイベントはトラブルもなく無事終了することができた。

楽しんでもらえるコースができた!

群馬ダートトライアルシリーズ第1戦・CMSCトライアルin群馬



CMSC群馬のダートトライアルは、雪でコースが使用不能になったため、開催が4月30日にズレ込んだ。群馬ダートトライアルシリーズ第1戦となる同大会には87台が参加、当初の予定より10台ほど減ったが、豪快なストレートとテクニカルコーナー2つを功みに組み合わせたコースはエントリーにも好評を博した。「1年に1回しか主催しないのでなかなか上手な運営ができない」(事務局)とは言うものの、今回はコース設定がバツグンだった。91年のダートラは丸和オートランドで7月21日の開催予定。相変わらずCMSCメンバーはオフィシャルに専念だが、「ギャランの出場台数が増えているのはうれしい」様子だ。

CMSC栃木主催 '90スリーダイヤスプリングジムカーナ

3月25日、日光スピードパークにて、'90スリーダイヤスプリングジムカーナを開催しました。当日は、晴天にもかかわらず、風が非常に強く、寒い日でしたが、各エントリーの熱い走り、ホットな1日となりました。シリーズ戦ではなく、単発のイベントとして開催されたため、ジムカーナとしては少々すくない、100台のエントリーでした。しかし、そのぶんタイムスケジュールもスムーズに進み、エントリーからは好評をいただきました。コース設定は、わがチーム独特のパイロンが極端に少ない、ハイスピードのレイアウト。エントリーも思うぞんぶんアクセルを踏み、激しい走りを見せてくれました。エントリーは約100台でしたが、三菱車の比率も多く、三菱賞1位は、AIIIでも2位と健闘していました。(CMSC栃木 篠崎)



年間17戦全力投球。来年も頑張ります。CMSC山形 小川日出夫

最近はずっかりレースばかりになってしまいました。特に今年は、ずいぶん出たなど、自分でも思うほどです。ミラージュカップのインターナショナル、フレッシュマン、東北とシリーズを追いかけました。さらに、西仙台のNI耐久、筑波の9時間耐久にも出ました。おかげさまで、東北シリーズは昨年に引き続きシリーズチャンピオン、フレッシュマンではシリーズ2位とそれなりに納得のいく成績を収めることができました。しかし、他流試合となるNI耐久、9時間耐久は、少々不満の残る結果でした。来年の計画はまだ未定ですが、若い人の面倒を見ながらも、今年以上の成績を残せるよう頑張ります。



ギャランユーザーの意地が爆発! 第6回CMSC帯広コルトダートトライアル

8月19日(土)札幌朝陽にあるイーストジャンボフロードスタジアムにおいて、第6回CMSC帯広コルトダートトライアルが開催されました。

当日は絶好のダート日和となり、道内各地から約40台のエントリーがありました。

AIIクラスではダンガンZZ4を操る斉藤選手が3位と活躍。AII、CDクラスは残念ながら三菱車のエントリーがありませんでした。しかし、AIIIクラスは半数以上を三菱車が上めました。

AIIIクラスはファミリアが競技をリードしていたが、井馬選手がギャランユーザーの意地を見せ、2位を3秒以上ブツちぎって優勝。合わせて、総合ベストラップ賞も井馬選手が勝ち取りました。



CMSC愛知発足式開催

前号でも紹介しましたが、CMSC愛知が発足。4月8日、名古屋ゆうせい会館で発足式が開催されました。

当日は、外川会長にも出席していただき、大いに盛りあがりました。当面はクラブ員総勢33名で活動を始めますが、他のCMSCに負けない充実したクラブにしていきたいと思います。各イベントにも積極的に参加していきますので、いろいろなアドバイスをお願いします。



まだまだ若い!!

三菱自動車工業の杉山駒吉常務(60歳)と来住南恵一常務(61歳)が、そろってJAFのA級ライセンスを取得した。若者がライセンスを取るのには珍しいが、両常務はいずれも60歳台。お年を考えると……となるわけだが「自分でステアリングを握ってみなければいかん!」と講習、イベントともに気合いを入れての取得だった。両常務のモータースポーツに対する理解度は、CMSCとしても有難いことです。もちろんお2人ともCMSC本部会員です。



(左)杉山常務

(右)来住南常務

'90チャレンジカップ中間ポイント発表

CMSC恒例のチャレンジカップ。昨年はCMSC山形が3年連続のトップに輝いた。今シーズンも各イベントでCMSCメンバーの活躍が見られるが、暑い夏からシーズン後半にかけてのポイント争いは目が

離せない。

今シーズンからラリー・ナビゲーター部門のポイントもクラブポイントに加算されるようになった。さらには、CMSC千葉、CMSC愛知と新しいクラブも誕生

し、現在15クラブが活動中。クラブ会員には積極的なイベント参加をお願いするとともに、ポイント集計の都合上、報告はお早めをお願いします(昨年の集計ミスをおわび申し上げます)。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	256	192			448
札幌	—	532			532
青森	281	380			661
岩手	—	—			
山形	549	524			1,073
仙台	15	14			29
福島	—	—			
栃木	79	43			122
群馬	163	328			491
埼玉	95	26			121
千葉	—	—			
岐阜	160	—			160
愛知	1	92			93
島根	52	—			52
香川	382	218			600

●ラリー・ドライバー部門

花沢宏之	青森	150
大西康弘	青森	76
渡辺俊昭	山形	70
船津康一	群馬	59
小林正夫	群馬	52
杉本浩	愛知	50
福土文秀	青森	40
安田弘美	青森	40
佐々木伸之	札幌	34
佐藤一彦	埼玉	31

●ラリー・ナビゲーター部門

石田隆雄	青森	142
金子誠司	群馬	52
永沢裕之	青森	38
伊吹浩明	帯広	30
瀬々徹	埼玉	29
松岡敏寿	青森	28
小林茂則	帯広	28
中村洋次	帯広	23
高橋壮吉	群馬	21
巻口実	札幌	21

●スラローム部門

高竹優之	香川	280
荒井信介	群馬	236
宝田芳浩	札幌	222
千田俊二	札幌	175
砂塚明男	山形	164
櫛田正文	岐阜	160
近藤健司	香川	152
赤羽政幸	山形	146
白井修	香川	86
菅野茂	山形	78

●レース部門

小川日出生	山形	212
木村政義	山形	84
東江誠	山形	60
川口法行	栃木	34
鈴木一彦	山形	29
郡司義光	栃木	20
山口茂	栃木	16
並木松雄	栃木	16
吉沼昭雄	栃木	14
佐藤政一	仙台	3

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	1/97ア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = ラリー……全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース……全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会

※編集部の手不届から、集計ができていないクラブがあることをお詫びいたします。(編集部)

↑リタイアには予選通過も含む